

# 小中高連携推進事業 パフォーマンステスト事例集

本事例集は、南相馬市を推進地域とした小中高連携推進事業において、市内の小・中・高等学校の担当教員が各校で実践・検証した事例を基に作成されています。以下に、本事例集のねらいと活用ポイントをまとめました。

## 1. ねらい～パフォーマンステストを通じた「指導と評価の一体化」～

本事例集の最大のねらいは、パフォーマンステストの具体を提示することで、「指導と評価の一体化」の実現による教員の指導力向上及び児童生徒の英語力の向上を目指すことにあります。

### 【Plan】目標の具体化(基準化)

単元で育成すべき資質・能力を「具体的なパフォーマンス(行動や表現)」としてルーブリックで具体化(基準化)し、教師と児童生徒が「目指すべき姿(ゴール)」を共有することができます。



### 【Do】テストに向けた言語活動

単元目標を具体化することで、単元を通じた言語活動の中で児童生徒のどのような姿や行動を見取るべきかが明確になり、教師による児童生徒への支援や指導改善、児童生徒の主体的な取組へとつながります。



児童生徒の  
英語力向上・  
目標達成

### 【Action】指導の改善

振り返りから得られた改善のための手立てを次の単元にいかすPDCAサイクルを継続することで、教師の指導力向上、児童生徒の自己調整力の向上につながります。



### 【Check】目標と現状のギャップを特定する

パフォーマンステストの結果から、教師が指導計画や指導方法を振り返ったり、児童生徒が自らの学習方法を振り返ったりして取組の成果や課題を確認することができます。



## 2. 活用のポイント(特長)

### ① 小・中・高の事例を比較して資質・能力の系統性を把握

小・中・高のテスト事例を比較することで、各校種で求められる資質・能力の違いと、その成長の過程を俯瞰することができます。

#### 学校段階ごとの思考力、判断力、表現力等

#### 事例にみる表現等

##### 高等学校

日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

- 論理的に伝え合っている。
- 合意形成のために話し合っている。

##### 中学校

日常的な話題や社会的な話題について、簡単な情報や考えなどを理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

- 自分の感想や考えを交えながら説明している
- 構成を工夫して書いている。

##### 小学校外国語

身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、慣れ親しんだ語彙等を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

- 質問したり伝え合ったりしている。
- 理由を伝えている。
- 紹介している。

##### 小学校外国語活動

身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

- 慣れ親しんでいる。
- 動作を交えて伝えている。

## 2. 活用のポイント(特長)

### ② 小学校外国語活動から始まるコミュニケーションを図る素地の育成

本事例集には、「外国語科」だけでなく、小学校4年生の「外国語活動」の事例も掲載しています。小学校から高等学校までの一貫した英語教育の中で、中学校・高等学校で求められる資質・能力を育むためには、その「素地」を小学校段階で養うことが重要です。

#### 予想される児童の姿

##### 動作を交える

自分の考えや気持ちなどを相手に理解してもらうために動作を交えて伝える。

##### ゆっくり話す

自分の考えや気持ちなどを相手に理解してもらうために、ゆっくり話して伝える。

##### 気持ちを伝える

伝え合う相手と挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりする。



小学校4年生の評価規準にある「予想される児童の姿」は、将来の論理的な発信や合意形成へと通じる重要な土台となります。

### ③ 工夫次第で3つのバリエーション

小学校6年生の「Where do you want to go?」の単元では、「行きたい国とその理由」という共通の言語材料を扱いつつ、実施形態によって「やり取り」を見たいのか、「発表」を見たいのかといった、先生方が育成したい資質・能力に合わせて、具体的なパフォーマンス(行動)への落とし込みが異なる事例も紹介しています。

#### 小学校6年生 Where do you want to go?

##### 【インタビュー型】

教師と1対1で、行きたい国や理由をやり取りする活動。

##### 【クイズ型】

ヒントを出し合い、相手の行きたい国を当てる即興的な活動。

##### 【プレゼンテーション型】

ツアープランを提案し、クラスで投票を行う発表活動。

# 小学校4年生 パフォーマンステスト事例 Unit7 What do you want?

## パフォーマンステスト

**場面設定** 友達のためにオリジナルピザを作ります。友達に質問をしてほしい具材を確認しながらピザを完成させましょう。

- 実施方法**
- 友達とペアになり、一人が「店員(作る人)」、もう一人が「客(頼む人)」という役割でやり取りを行う。
  - タブレット等のWEB教材画面上で、具材(野菜や果物など)を配置してピザを完成させる。
  - 「What do you want?」と尋ね、相手が「I want onions, please.」などと答える。
  - 最後に「Here you are.」と言ってピザを渡す動作を含める。

**児童の対話例** S1 (店員/作る人): 友達の注文を聞き、タブレット等で具材を配置する。  
S2 (客/頼む人): 自分のほしい具材を伝える。

S1 : Hello! Let's make your pizza. (挨拶と導入)  
S2 : Hello!  
S1 : What do you want?, (具材を尋ねる)  
S2 : I want tomatoes and corn, please. (具材を答える)  
S1 : OK. Tomatoes and corn. (具材を置きながら) How many tomatoes?  
S2 : Three, please.  
S1 : One, two, three. OK! Do you like onions?  
S2 : Yes, I do. / No, I don't. (好みを答える)  
S1 : (ピザが完成して) This is your pizza. Here you are!  
S2 : Wow! Thank you!

◎見取るポイント  
知識・技能→下線部  
思考・判断・表現→太字

## 単元目標

<b>目標</b>	友達が喜ぶピザを作るために、相手の欲しい食材や自分がほしい食材について、質問したり質問に答えたりすることができる。	
<b>評価規準(話すこと「やり取り」)</b>	<b>知識・技能</b>	友達の希望に沿ったピザを作るために、相手の欲しい食材や自分がほしい食材について、質問したり質問に答えたりすることができる。
	<b>思考・判断・表現</b>	友達にオリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながらほしい食材などについて質問したり、質問に答えたりしている。
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	友達にオリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながらほしい食材などについて質問したり、質問に答えたりしようとしている。

## 評価規準(予想される児童の姿)

<b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 挨拶, 感謝, 簡単な指示をしたり, それらに応じたりすることに慣れ親しんでいる。</li> <li>● オリジナルピザを作るために欲しいものについて質問したり質問に答えたりすることに慣れ親しんでいる。</li> </ul>
<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ほしい具材について伝え合う相手と挨拶, 感謝, 簡単な指示をしたり, それらに応じたりしている。</li> <li>● オリジナルピザを作るために欲しいものについて質問したり質問に答えたりしている。</li> <li>● 自分の考えや気持ちなどを相手に理解してもらったり, したりするために, ゆっくり話したり, 繰り返したり, また動作を交えたりするなどの工夫を行って伝えている。</li> </ul>
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オリジナルピザを作るために欲しいものについて質問したり質問に答えたりしようとしている。</li> <li>● 自分の考えや気持ちなどを相手に理解してもらったり, したりするために, ゆっくり話したり, 繰り返したり, また動作を交えたりするなどの工夫をして伝えようとしている。</li> </ul>

外国語活動におけるパフォーマンステストについて  
外国語活動は、「1単元で必ずしも全児童について記録に残す必要はなく、1年間を通して全児童について各観点で各領域においてバランスよく記録に残すことが大切である。こうして蓄積した各児童についての記録を基に、指導要録に文章で児童の様子を記載する。」  
(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校外国語・外国語活動より)

# 小学校5年生 パフォーマンステスト事例

# Lesson5 Where is the station?

## パフォーマンステスト

**場面設定** ALTの先生にあなたのお気に入りの場所を伝え、その理由(なぜ好きなのか、そこで何ができるのか)とそこまでの行き方を説明してください。

- 実施方法**
- 挨拶の後、教師の「What is your favorite place?」に対し、お気に入りの場所とその理由を話す。
  - 地図上で現在地を確認し、目的地までの道順を説明する。
  - 最後にお礼を伝えて終了する。

### 児童の対話例

T : What is your favorite place?  
 S : My favorite place is the library.  
 T : Why?  
 S : I like manga.  
 T : That's nice! Where is the library?  
 S : Go straight for two blocks. Turn right. You can see it on your right.  
 T : Thank you.  
 S : You're welcome.

◎見取るポイント  
 知識・技能→下線部  
 思考・判断・表現→太字

- (テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)
- 教科書のマイタウンのお気に入りの場所についてペアで紹介し合う活動。
  - 自分の町のお気に入りの場所についてペアで紹介し合う活動。
  - 教科書の地図だけでなく、地域の地図を準備することで、児童の紹介したいという意欲をより高めることなどが考えられる。
  - ビデオで記録に残して評価する方法が考えられるが、役割分担や撮影方法の指導に時間を要することなどが考えられる。

## 単元目標

目標	互いのことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について道順など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、道順やお気に入りの理由などを伝え合ったりすることができる。	
	知識・技能	(知識) Where is ~?や道案内、位置を表す表現等について理解している。
		(技能) お気に入りの場所について、主な言語材料を用いて道順を伝え合う技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合おうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	既習表現を正しく用いて、お気に入りの場所や道順を相手の状況を確認しながら伝え合っている。	互いのことをよく知るために、相手に進んで質問したり反応したりして、お気に入りの場所や理由を伝え合ったり、相手がよくわかるように道順などを示したり情報を加えたりして正しく道案内をしたりしている。
b	おおむね満足	言いよどみや表現の一部に誤りはあるが、既習表現を用いてお気に入りの場所や道順を伝え合っている。	互いのことをよく知るために、お気に入りの場所や理由を伝え合ったり、道順などを示して道案内をしたりしている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 小学校5年生 パフォーマンステスト事例

# Lesson6 What would you like?

## パフォーマンステスト

**場面設定** あなたはレストランにお客さんとして来ました。店員さんとやり取りをして、自分が食べたい料理や飲み物を丁寧な言い方で注文し、値段を確認して支払いをしましょう。

- 実施方法**
- 「店員」と「客」の役割を交代しながら、すべての児童が両方の立場を経験するようにする。
  - 店員がメニューを渡し、客の注文を取る。
  - 客は注文をして、合計金額を尋ねる。
  - 店員は金額を伝え、商品を渡す動作を行う。

**児童の対話例** S1 (店員):メニューを渡し、注文を取り、値段を伝える。  
S2 (客):メニューを見て注文し、代金を払う。

S1 : Hello! Welcome to my restaurant.  
S2 : Hello!  
S1 : (メニューを渡しながら) **What would you like?**  
S2 : (メニューを指さしながら) **I would like a hamburger and orange juice, please. I'm very hungry!**  
S1 : OK. A hamburger and orange juice. Anything else?  
S2 : No, thank you. **How much is it?**  
S1 : **It's 650 yen.**  
S2 : (お金を渡すジェスチャーで) Here you are.  
S1 Thank you. (料理を出すふりをして) Here is your hamburger.  
S2 Thank you.

◎見取るポイント  
知識・技能→下線部  
思考・判断・表現→太字

- (テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)
- 教科書の「世界のフードフェスティバル」で注文したい料理や理由、値段などについて伝え合う活動。
  - 家族や友達など、身近な人のためにランチメニューを考えて伝え合う活動。
  - 1人ひとりを教師が対面で評価すると時間がかかるため、3人1組のグループやクラス分割などによりビデオ撮影を活用する方法などが考えらる。

## 単元目標

<b>目標</b>	レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取ったり、丁寧な言い方で伝え合ったりすることができる。		
<b>評価規準(話すこと[やり取り])</b>	<b>知識・技能</b>	(知識)	買い物で使われる表現やHow much ~?などの言語材料について理解している。
		(技能)	料理やその値段、味などについて、主な言語材料を用いて、丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けている。
	<b>思考・判断・表現</b>	レストランなどで注文するために、役割に応じて、料理やその値段、味などについて、丁寧な言い方で伝え合っている。	
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	レストランなどで注文するために、役割に応じて、料理やその値段、味などについて、丁寧な言い方で伝え合おうとしている。		

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	注文や支払いをするための表現を正しく用いて、 <u>買い(売り)たい商品や代金</u> について伝え合っている。	レストランで注文をする(とる)ために、メニューを指さしたり感想を述べたりして相手にわかりやすく工夫しながら料理や値段、味などについて尋ねたり、説明したりしている。
b	おおむね満足	一部の誤りはあるが、注文や支払いをするための表現を正しく用いて、 <u>買い(売り)たい商品や代金</u> について伝え合っている。	レストランで注文をする(とる)ために料理や値段、味などについて尋ねたり、説明したりしている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 小学校6年生 パフォーマンステスト事例

# Lesson5 Where do you want to go?【インタビュー】

## パフォーマンステスト

**場面設定** 自分が行きたい国についてインタビューをします。先生からの質問(Why?など)に答えてください。自分の気持ちを伝えることや相手に質問することにも挑戦してみましょう。

**実施方法**

- 児童1人に対し、ALTまたは学級担任が1対1で対面して実施する。
- 教師は評価シートを手元に置き、児童の表現の適切さを評価する。
- ※表現の適切さ:表現の正確さ、発音、応答の適切さ、内容の豊かさなど
- テスト終了後、評価シートを児童に渡し、よかった点やアドバイスをフィードバックする。

### 児童と教師の対話例 T(教師) S(児童)

T : Hi, Haruhi. Where do you want to go ?  
 S : Hello. **I want to go to Italy.**  
 T : Why do you want to go there?  
 S : **I want to see the beautiful sea.** It's very beautiful!  
 T : That's nice! What do you want to do there?  
 S **I want to swim with tropical fish.** How about you?  
 T I want to go to Hawaii. I want to swim with fish, too.  
 S Nice!  
 T Thank you, Haruhi. You did a good job today.

◎見取るポイント  
 知識・技能→下線部  
 思考・判断・表現→太字

## 単元目標

目標	自分の行きたい国について知ってもらうために、行きたい国とその理由について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、互いのことをよく知るために、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	
	知識	主な言語材料(Where do you want to go?, I want to see ~等)について理解している。
	技能	行きたい国とそこでしたいことなどについて、主な言語材料を用いて質問したり、質問に答えたりして伝え合う技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自分の行きたい国について知ってもらうために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	自分の行きたい国について知ってもらうために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合おうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	既習表現を正しく用いて、 <u>行きたい国とそこでしたいことなどについて話したり質問したりしている。</u>	自分の行きたい国について知ってもらうために、 <u>行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)について</u> 、自分の考えや関連する質問などを交えながら答えている。
b	おおむね満足	言いよどむ場面や表現の間違いが一部見られるものの、 <u>行きたい国とそこでしたいことなどについて話したり質問したりしている。</u>	自分の行きたい国について知ってもらうために、 <u>行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)について質問に答えている。</u>
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- ペアで行きたい国クイズを出し合う活動。
- テストや評価の方法等を単元のはじめに提示することで児童が見通しをもって学習に取り組むことなどが期待できる。
- 評価について、条件を2つ満たしていればb,3つ満たしていればaとすることなどが考えられる。  
 例)条件1:行きたい国について表現している。  
 条件2:内容(Lesson5で学習したことなど)  
 条件3:自分の考えや気持ち、相手への質問等をしている。

# 小学校6年生 パフォーマンステスト事例 Lesson5 Where do you want to go?【クイズ】

## パフォーマンステスト

**場面設定** 友達や先生(ALT)と2人1組になり、行きたい国についてクイズを出しましょう。1回で正解することができなかった場合は、ヒントを加えたり、出題者に質問をすることができます。

- 実施方法**
- 児童と先生(ALTや担任)、または児童同士の2人1組で行う。
  - 出題者が「行きたい国」に関するヒント(食べ物、有名な場所、そこで行えることなど)を3つ程度出す。
  - 回答者が国名を推測して答える。
  - 1回で正解できなかった場合、出題者は新しいヒントを付け加えたり、回答者は出題者に質問をしたりして、正解を導き出す。

### 児童の対話例 S1(回答者) S2(出題者)

S1 : Where do you want to go?  
 S2 : Please guess. **I want to eat ice cream. I want to buy a beautiful bag.** You can see the World Heritage sites.  
 S1 : Question. Do you like pizza?  
 S2 : Yes, I do.  
 S1 : Oh, **you want to go to Italy?**  
 S2 : That's right. It's a very beautiful country.

◎見取るポイント  
 知識・技能→下線部  
 思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 国名とそこで行えること、様子のカードを使って「マッチング・ゲーム」を行う活動。
- 行きたい国クイズのために、話す内容を整理してペアで伝え合う活動。
- 1対1でのやり取りへの心理的不安を低減するために、クイズをグループで行ったり、安心できるペアから活動を始めたりすることも考えられる。
- S2が「How about you? Where do you want to go?」と言って役割を交換して対話を継続する方法なども考えられる。

## 単元目標

目標	互いのことをよく知るために、行きたい国とその理由について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、互いのことをよく知るために、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	
評価規準(話す)と(やり取り)	知識・技能	(知識) 主な言語材料(Where do you want to go?, I want to see ~等)について理解している。 (技能) 行きたい国とそこでしたいことなどについて、主な言語材料を用いて質問したり、質問に答えたりして伝え合う技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合おうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	既習表現を正しく用いて、 <u>行きたい国</u> と <u>そこでしたいこと</u> などについて話したり質問したりしている。	互いの行きたい国について知るために、相手の状況を見ながら自分の考えを加えて <u>そこでしたいことやできることを</u> 伝えたり、質問したりしている。
b	おおむね満足	言いよどむ場面や表現の間違いが一部見られるものの、 <u>行きたい国</u> と <u>そこでしたいこと</u> などについて話したり質問したりしている。	互いの行きたい国について知るために、 <u>そこでしたいことやできることを</u> 伝えたり、質問したりしている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 小学校6年生 パフォーマンステスト事例 Lesson5 Where do you want to go?【プレゼン】

## パフォーマンステスト

### 場面設定

ALTの先生やクラスの友達が「行ってみたい！」と思うようなツアープランを考えて発表しましょう。写真やイラストを使いながら、その国の魅力を伝えてください。全員の発表が終わった後、どのプランが一番人気か「ツアープラン投票」を行います。

### 実施方法

- 児童が一人ずつ、またはグループごとに、考えてきたツアープランを発表する(行きたい国、そこで見たいもの、食べたいものなど)。
- クラス全員のツアープランを聞き、他の友達がどのような国の魅力を紹介しているか、情報を聞き取りながら参加する。
- すべての発表が終わった後、どのツアープランが最も魅力的で「行きたくなかったか」を基準に、人気投票を行う。

### 児童の発表例

(スライドを示しながら)

**I want to go to France.**  
**I want to visit the Eiffel Tower.**  
 It's big and beautiful.  
**Do you like sweets?**  
**You can eat Macaron.** It's 300 yen.  
 It's cute and sweet.  
 Let's go to France.

◎見取るポイント  
 知識・技能→下線部  
 思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 国名とそこでできること、様子のカードを使って「マッチング・ゲーム」を行う活動。
- ペアで行きたい国クイズを出し合う活動。
- 児童個々の負担に応じて、行きたい国ごとにグループを組んで発表の準備を行うことなども考えられる。
- 児童が使うスライドはあらかじめひとつのファイルにまとめておくなど、表示の切り替えによる時間を削減する。

## 単元目標

### 目標

自分が行きたい国の魅力を知ってもらうために、行きたい国とその理由について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、自分の行きたい国の魅力を紹介したりすることができる。

### 評価規準(話すこと「発表」)

知識・技能	(知識)	主な言語材料(Where do you want to go?, I want to see ~等)について理解している。
	(技能)	行きたい国とそこでしたいことなどについて、主な言語材料を用いて紹介する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自分が行きたい国の魅力を知ってもらうために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて伝えている。	
主体的に学習に取り組む態度	自分が行きたい国の魅力を知ってもらうために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて伝えようとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	既習表現を正しく用いて、 <u>行きたい国とそこでしたいこと</u> などについて話している。	自分が行きたい国の魅力を知ってもらうために、 <u>行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)</u> について、相手の状況を見ながら自分の考えや関連する質問を加えて紹介している。
b	おおむね満足	言いよどむ場面や表現の間違いが一部見られるものの、 <u>行きたい国とそこでしたいこと</u> などについて話している。	自分が行きたい国の魅力を知ってもらうために、 <u>行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)</u> について紹介している。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 中学校1年生 パフォーマンステスト事例

# Unit5 My brother in Hawaii

## パフォーマンステスト

**場面設定** あなたのまわりの身近な人について、友達にその人の魅力や良さが伝わるように具体的なエピソードや個人的な感想を交えて紹介しなさい。

- 実施方法**
- 紹介したい人物を中心に、その人の特徴(funny, kind 等)や具体的な活動(plays table tennis 等)を枝分かれさせた「発表用ワードマップ」を作成する。
  - ペアになり、お互いにワードマップを見せながら人物紹介のプレゼンテーションを行う。
  - ペアでの発表の様子をタブレットで撮影し、動画として提出する。

### 生徒の対話例

S1 : Hello! This is my friend, Ken. He is very kind.

S2 : Hello. What does he like?

S1 : He likes sports.

He plays basketball every day. He is a member of the basketball team.

S2 : I see. Is he a good player?

S1 : Yes. He plays it very well. He always helps me.  
I like him.

◎見取るポイント  
知識・技能→下線部  
思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 身近な人物のよさや好きなこと、普段していることなどを伝え合う活動。
- 身近な人物を「～な人物」のように変えて伝え合う活動。
- 原稿の読み上げにならないよう、ワードマップは語句のみとするなど、事前に指導しておく。
- 撮影者は3人グループにしたり、クラスを前半にやり取りをする班と後半を撮影する班で分けたりするなどの方法が考えられる。

## 単元目標

### 目標

ALTに身近な人の魅力を伝えるために、身近な人のよさやその具体的なエピソードなどについて、聞き手を意識しながら伝えることができる。

### 評価規準(話すこと「発表」)

知識・技能	(知識)	三単現のsや代名詞などの特徴やきまりに関する事項を理解している。
	(技能)	身近な人の魅力について、三単現のsや代名詞を用いて質問したり説明したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	ALTに身近な人の魅力を伝えるために、身近な人のよさやその具体的なエピソードなどの情報を整理し、聞き手に伝わるような構成や表現を工夫して話している。	
主体的に学習に取り組む態度	ALTに身近な人の魅力を伝えるために、身近な人のよさやその具体的なエピソードなどの情報を整理し、聞き手に伝わるような構成や表現を工夫して話そうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	三単現のsや代名詞などの言語材料について理解し、ほぼ誤りのない正確な英文で身近な人物について説明している。	ALTに身近な人の魅力を伝えるために、身近な人のよさや具体的なエピソードなどについて、聞き手を意識しながらワードマップのキーワードを基に、自分の言葉で話している。
b	おおむね満足	三単現のsや代名詞などの言語材料について理解し、一部誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で身近な人について説明している。	ALTに身近な人の魅力を伝えるために、身近な人のよさや具体的なエピソードなどについて、ワードマップのキーワードを基に、自分の言葉で話している。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 中学校1年生 パフォーマンステスト事例

# Unit7 An Online Tour of the U.K.

## パフォーマンステスト

### 場面設定

ALTに学校の様子を伝えるため、学校生活について紹介する動画を見て、そこで何がおこなれているか説明する英文を書きなさい。

- 〔条件〕
- ・ 何をしているか説明している。
  - ・ 自分の考えや感想を述べている。
  - ・ 20～30語程度で書いている。

### 実施方法

- 生徒は教師が作成した動画を視聴する。
- 視聴した動画をもとに、英文の構想をメモにする。
- メモをもとに英文を書く。

### 生徒の説明文例+-

In the morning, my classmates are studying math. Our teacher is helping them.

After school, some students are practicing basketball in the gym. They are very cool. I like my school life.

◎見取るポイント  
 知識・技能→下線部  
 思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- ジェスチャーゲームで何をしているか尋ねたり答えたりする活動。
- 学校生活のある場面について何をしているか説明する文を書く活動。
- 口頭で伝える活動をした後に、その内容を書くといった活動を計画的に取り入れ、「書くこと」の経験を重ねていくようにする。
- 動画視聴5分、構想5分、書く時間を10分とするなど、あらかじめ作業時間を設定して生徒に示しておくことなどが考えられる。

## 単元目標

目標	ALTに学校の様子を伝えるために、自分たちの登校から下校までの行動について、説明文を書くことができる。	
評価規準(書くこと)	知識・技能	(知識) 現在進行形の特徴、きまりに関する事項について理解している。 (技能) 絵や動画の人が行っていることについて説明する英文を書く技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	ALTに自分たちの学校での様子を伝えるために、登校から下校までの行動について、構成を工夫して説明する文を書いている。
主体的に学習に取り組む態度	ALTに自分たちの学校での様子を伝えるために、登校から下校までの行動について、構成を工夫して説明する文を書こうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

	評価	知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	現在進行形を用いて動画の人物が行っていることについて、ほぼ誤りのない英文で書いている。	ALTに自分たちの学校での様子を伝えるために、登校から下校までの行動について、自分の感想や具体的なエピソードを加えたり、説明する順序を工夫したりして、読み手に状況が伝わるように書いている。
b	おおむね満足	現在進行形の使用に一部誤りがあるが、内容の伝達に支障がない程度の英文で、動画の状況について説明する文章を書いている。	ALTに自分たちの学校での様子を伝えるために、登校から下校までの行動について説明する順序を工夫して読み手に状況が伝わるように書いている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 中学校2年生 パフォーマンステスト事例

# Unit4 What is important in a homestay?

## パフォーマンステスト

**場面設定** 留学生のための富士山登山パンフレットを作成する。外国人観光客による富士山登山についてのニュース(動画)を見て、留学生のためのアドバイスを書きなさい。

- 実施方法**
- 外国人観光客による富士山登山のニュース(動画)を視聴する。
  - ニュース(動画)から、守らなければならないことや登山を楽しむためのアドバイスを書き出し、伝える内容を整理する。
  - 整理した情報を基に、英文を書く。

◎見取るポイント  
知識・技能→下線部  
思考・判断・表現→太字

### 生徒の作文例

Climbing Mt. Fuji is very hard. First, you must dress warmly **because the temperature changes quickly.** You should check the weather before climbing. Second, you mustn't take stones or flowers home. **It is important for protecting our natural heritage site.** Finally, bringing your own trash back is a good manner. Please enjoy the beautiful view!

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 自分の家のルールについてしななければならないことやしなくてもよいこと等を伝え合う活動。
- 登山以外で公共の場などで注意することや守るべきマナーなどについてまとめる活動。
- 教科書で扱わない語(temperature, take ~homeなど)を使用することも予想されることから、似たようなテーマに関連する語に慣れさせておくことなどが考えられる。
- ニュース(動画)視聴5分、構想5分、書く時間を10分とするなど、あらかじめ作業時間を設定して生徒に示しておくことなどが考えられる。

## 単元目標

目標	日本を訪れる外国人(留学生や観光客)が、楽しめるよう、生活習慣や公共のマナー、安全上のルールについてアドバイスしたり、書いたりして伝えることができる。	
評価規準(話すこと「発表」)	知識・技能	(知識) 助動詞や動名詞の特徴、きまりに関する事項について理解している。 (技能) 日本の生活習慣やマナーなどについて「しななければならないこと」や「しなくてもよいこと」などのアドバイスを書く技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	海外から来た留学生に楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーなどについて、読み手にとってわかりやすく説得力のあるアドバイスを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	海外から来た留学生に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーなどについて、読み手にとってわかりやすく説得力のあるアドバイスを書こうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	助動詞や動名詞を用いて、しななければならないことやしなくてもよいことなどのアドバイスをほぼ誤りのない英文で書いている。	ニュース動画で報じられた現状(軽装、マナー等)をふまえ、富士山登山に関する注意事項やアドバイスを理由を添えた説得力のある構成で書いている。
b	おおむね満足	助動詞や動名詞の使用に一部誤りがあるが、内容の伝達に支障がない程度の英文で、しななければならないことやしなくてもよいことなどのアドバイスを書いている。	富士山登山に関する注意事項やアドバイスについて、読み手に状況が伝わるように書いている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 中学校3年生 パフォーマンステスト事例 Stage Activity2 My Activity Report

## パフォーマンステスト

### 場面設定

国際交流の授業で、バンクーバーから来日する生徒から「日本の学校生活について知りたい」というビデオレターが届きました。ビデオの内容に応える形で、あなたのこれまでの活動や経験について紹介する返信メッセージを作成し、発表しなさい。

### 実施方法

- ビデオレターを視聴し、来日する生徒が知りたい内容を確認する。
- 返信メッセージで伝える内容や構成をメモやワードマップに整理する。
- 発表原稿は書かず、メモなどを参考に発表する。

[ビデオレターの内容例]  
Hi, everyone. I'm Sarah from Vancouver. At my school, we can join several practice about twice a week during lunch break or after school. This year I joined badminton club in spring and the curling club in winter. I also participated in some volunteer activities in fall. Please tell me about your school activities.

### 生徒の発表例

Hello, Sarah. Thank you for your video letter. I have many experiences in my school life. I **joined the chorus contest and sang a song written by a famous composer. It was hard but exciting. I also played baseball which is popular in Japan, and I learned teamwork.** These experiences taught me important lessons. I will never forget them.

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 防災(など)のために自分ができていることを伝え合う活動(Unit4)。
- メモに書いたキーワードを参考に適切な語順で話したり、話す内容や順番を整理して話す活動。
- メモを基に発表する習慣は、継続的に指導することなどが考えられる。

◎見取るポイント  
知識・技能→下線部  
思考・判断・表現→太字

## 単元目標

### 目標

国際交流の授業で、バンクーバーから来日する生徒が事前に知りたい情報を教えるために、自分自身のこれまでの学校生活における活動や経験について、感想を交えながら説明することができる。

### 評価規準(話すこと「発表」)

知識・技能	(知識)	関係代名詞(主格・目的格)、現在分詞や過去分詞などの特徴やきまりについて理解している。
	(技能)	自分自身のこれまでの学校生活における活動や経験について、詳細な情報を加えながら説明する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	国際交流の授業で、バンクーバーから来日する生徒が知りたい情報を教えるために、自分自身のこれまでの学校生活における活動や経験について、感想を交えながら説明している。	
主体的に学習に取り組む態度	国際交流の授業で、バンクーバーから来日する生徒が知りたい情報を教えるために、自分自身のこれまでの学校生活における活動や経験について、感想を交えながら説明しようとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	関係代名詞や現在分詞、過去分詞を用いて、これまでの学校生活における活動や経験についてほぼ誤りのない英文で話している。	相手が知りたい情報を教えるために、自分自身のこれまでの学校生活における活動や経験について、自分の感想や考えを交えながら、順序や構成を分かりやすく工夫して話している。
b	おおむね満足	関係代名詞や現在分詞、過去分詞の使用に一部誤りがあるが、内容の伝達に支障がない程度の英文で、これまでの学校生活における活動や経験について話している。	相手が知りたい情報を教えるために、自分自身のこれまでの学校生活における活動や経験、自分の感想や考えについて話している。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 高校1年生 パフォーマンステスト事例

# Lesson6/Lesson7

## パフォーマンステスト

### 場面設定

4人グループで、中学生に向けた『高校PR動画』を作成しなさい。自分たちの経験やこれまでに取り組んできたことについて、本校の魅力が伝わるように紹介しなさい。

### 実施方法

- 発表する順番と内容を決める。
- メモを使って発表のリハーサルをする。
- 約2分間の動画を撮影する。(カメラは固定)
- 動画を確認し、修正点があれば再度撮影する。
- 完成した動画を提出する。

◎見取るポイント  
知識・技能→下線部  
思考・判断・表現→太字

### 生徒の発表例

S1: Hello, junior high students! Welcome to Haramachi High School. I have enjoyed my school life here for six months. This school is very exciting. Today, we will show you **two great things** about our school.

S2: First, let's talk about club activities. I have joined the brass band club, and **I've practiced hard for the school festival**. We have many kinds of clubs, like tennis, baseball, and science. You can find your favorite one!

S3: **Second**, we have great facilities. Our school has already renovated the gym, so it's very clean and cool! Also, we have a long history. You can learn many things in this traditional but modern school.

S4: How was our school? We have many kind teachers and friendly students. I **have made many friends since I entered this school**. Let's study and play together at Haramachi High School. We are waiting for you!

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 学校の魅力や入学後の自分の体験などについてメモ(ワードマップ)を作成しながら3人一組で行う「トリオディスカッション」で伝え合う活動。
- 「導入-部活の体験-学校行事-中学生へ一言」など発表の構成例を示すなどの支援も考えられる。

## 単元目標

### 目標

中学生に本校の魅力を紹介するために、学校生活や行事などについて、自分の経験やこれまでに取り組んできたことを、完了形を用いて整理し、中学生が理解しやすいよう内容や表現に配慮して伝えることができる。

### 評価規準(話すこと「発表」)

知識・技能	(知識)	完了形などの表現や語句について理解している。
	(技能)	完了形を用いて、学校生活や行事などに本校の魅力を中学生が理解しやすいよう内容や表現に配慮して伝える技能を身に付けている。
思考・判断・表現	中学生に本校の魅力を紹介するために、学校生活や行事などについて、中学生が理解しやすいよう内容や表現に配慮して伝えている。	
主体的に学習に取り組む態度	中学生に本校の魅力を紹介するために、学校生活や行事などについて、中学生が理解しやすいよう内容や表現に配慮して伝えようとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	ほぼ誤りのない英文で学校生活や行事などでの <u>自分の経験やこれまでの取組</u> について話している。	中学生に本校の魅力を紹介するために、学校生活での経験やこれまでに取り組んできたことについて、 <b>展開や構成を工夫したり、具体例を加えたりしながら</b> 分かりやすい表現で伝えている。
b	おおむね満足	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて学校生活や行事などでの <u>自分の経験やこれまでの取組</u> について話している。	中学生に本校の魅力を紹介するために、学校生活での経験やこれまでに取り組んできたことについて、 <b>展開や構成を工夫したり、具体例を加えたりしながら</b> 伝えている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 高校2年生 パフォーマンステスト事例

# Lesson 7 More Than Just Shelters

## パフォーマンステスト

### 場面設定

3人1組のグループで、以下のトピックについて2分30秒間のディスカッションを行います。建築家・坂茂さんの活動や、災害時の環境などについて学んだことを生かし、自分の意見を理由とともに述べなさい。  
**【Topic】** If you were to help foreigners in Minamisoma in times of natural disasters, what would you do to help them?

### 実施方法

- クラス全体を3人1組のグループに分け、2ラウンド(メンバーを入れ替えて)で実施する。(第1ラウンド)
- ディスカッション(2分30秒)を評価者(ALT/JTE)の前で実施。
- グループ内で互いのよかった点(例:具体的な理由があったなど)を共有し、次のメンバーへ移動。(第2ラウンド)
- メンバーを替えて再度実施し、第1ラウンドと同様に振り返りを行う。

### 生徒の対話例

◎見取るポイント  
 知識・技能→下線部      思考・判断・表現→太字

S1: If I were to help foreigners, I would make a multilingual evacuation map. **Because many foreigners can't read Japanese signs during a disaster.**

S2: Nice! I agree. If I were in that situation, I would also use a translation app to explain the situation more clearly. What do you think, S3?

S3: Good idea. I think **communication** is the most important. If we were to prepare together, we could save more people.

- (テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)
- 「もし自分が～なら」というテーマでトリオディスカッションを帯活動として行う。
  - 教師の前でディスカッションを行う代わりに録画機材の前で行う方法も考えられる。

## 単元目標

目標	本文に登場する人物の建築家としてのポリシーや、自然災害の過酷な環境について学んだことを例証として活用し、ディスカッションにおいて論理構成や展開を工夫しながら相手の意見を踏まえて賛成・反対を伝えることができる。	
評価規準(話すこと「やり取り」)	知識・技能	(知識) 仮定法(If S' were to V', S would V~を)の特徴やきまりを理解している。 (技能) 社会的な話題について、仮定法を用いて自分の意見を理由とともに述べる技能を身につけている。
	思考・判断・表現	相手に意見をよりよく理解してもらうために、災害時の過酷な環境について、学んだ知識を例証として活用しながら論理的に伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	相手に意見をよりよく理解してもらうために、災害時の過酷な環境について、学んだ知識を例証として活用しながら論理的に伝え合おうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	ほぼ誤りのない英文で、 <u>自然災害が発生時に外国人を守るための行動について自分の考えや理由を伝えている。</u>	相手に意見をよりよく理解してもらうために、災害時の過酷な環境について、 <b>学んだ知識を例証として活用しながら、相手の意見を踏まえて論理的に伝え合っている。</b>
b	おおむね満足	多少の文法的な誤りはあるものの、意味の伝達に支障のない程度の英文で、 <u>自然災害が発生時に外国人を守るための行動について自分の考えや理由を伝えている。</u>	相手に意見をよりよく理解してもらうために、災害時の過酷な環境について、 <b>学んだ知識を例証として活用しながら、論理的に伝え合っている。</b>
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

# 高校3年生 パフォーマンステスト事例

# Unit5 Protein Crisis

## パフォーマンステスト

**場面設定**

3人1組のグループで、以下のトピックについて2分30秒間のディスカッションを行う。自分の立場(賛成・反対)を理由とともに述べ、最終的にグループとして1つの結論を出す『合意形成』を目指しなさい。ディスカッションはトピックを変えて2回行う。

**【Topic1】** Your neighbor leaves their dog out in all kinds of weather. The poor animal frequently looks like it is miserable. Sometimes it is out of water and seems to be fed rarely. Do you report what you think is happening or stay quiet?

**【Topic2】** A friend gives you a gift for your birthday. Unfortunately, it is a type of perfume you are extremely allergic to. Do you say something and ask for a receipt to return it, or keep quiet?

**実施方法**

- 3人でグループになり、TOPICについて2分30秒間、評価者(ALT/JTE)の前で英語でディスカッションを行い、グループとして1つの立場を選ぶ方向で話し合いをする。
- ディスカッションは2回行う。

◎見取るポイント  
 知識・技能→下線部  
 思考・判断・表現→太字

### 生徒の対話例

S1 : I think we should report it. Because the dog looks miserable and needs help.

S2 : **I understand your point, but** it might ruin the relationship with the neighbor. I would stay quiet. **What do you think, S3?**

S3 : I agree with S1. The dog's life is more important than the neighbor. **How about we talk to the neighbor first before reporting?**

S1&S2 : **That's a good idea.** Let's do that.

## 単元目標

目標	賛否両論あるテーマについて、自分の立場を明らかにし、具体例や理由を述べながら、合意形成のために話し合うことができる。	
評価規準(話すこと「やり取り」)	知識・技能	(知識) 賛成・反対の立場について言及するための言語材料や表現方法を理解している。 (技能) 具体例を挙げながら理由を述べたり、論理的に話し合いを展開する技能を身につけている。
	思考・判断・表現	互いの意見を理解し合意形成するために、賛否両論あるテーマについて、自分の立場を明らかにし、具体例を挙げながら理由を述べ、論理的に話し合っている。
主体的に学習に取り組む態度	互いの意見を理解し合意形成するために、賛否両論あるテーマについて、自分の立場を明らかにし、具体例を挙げながら理由を述べ、論理的に話し合おうとしている。	

## 評価基準(ルーブリック)

評価		知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	賛成・反対の立場について言及するための言語材料や表現方法をほとんど誤りなく使用し、具体例を挙げながら理由を述べたり、論理的に話し合っている。	互いの意見を理解し合意形成するために、賛否両論あるテーマについて、 <b>自分の立場を明らかにし、具体例を挙げながら理由を効果的に述べ、論理的に話し合いを展開し合意形成している。</b>
b	おおむね満足	一部誤りはあるものの、 <u>賛成・反対の立場について言及するための言語材料や表現方法</u> を使用し、具体例を挙げながら理由を述べたり、話し合っている。	互いの意見を理解し合意形成するために、賛否両論あるテーマについて、 <b>自分の立場を明らかにし、具体例を挙げながら理由を述べ、論理的に話し合っている。</b>
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。